

原爆体験者等健康意識調査に関する解析について（解析結果を踏まえた作業方針）

検討会からの提示	前回WGにおける方針	今回の論点
<p><u>1 心身の健康影響について</u></p> <p>・地域で比較した場合の健康影響に関する検討</p>	<p>・まずは、原爆投下時の位置情報と、黒い雨を経験した際の位置情報との関係を検討する。</p>	<p>・位置情報の集計結果を踏まえ、今後、地域で比較した場合の健康影響を検証するか。</p> <p>・その場合の設定地域はどのようにするか。(行政上の区分は、「被ばく地域」(手帳の出る範囲)、「第1種健康診断特例区域」(宇田大雨地域)があり、それに「今回の要望区域」とその外の区域がある。)</p>
<p>・被曝区分毎(直接被曝、入市被曝、救護被曝)、あるいは、地域ごと(指定地域、非指定地域)における黒い雨を体験した者と体験していない者の健康影響の比較</p>	<p>・健康影響の指標として身体的な事項及び精神的な事項を解析する。身体影響については解釈に限界もあることを踏まえ検討する。</p> <p>・被曝区分ごと(直曝、入市、救護・看護)、地域ごと(指定地域、非指定地域)に黒い雨を体験した方と体験していない方について比較を行うこととする。</p> <p>・精神的な尺度については、カットオフ値を使った場合の分析も行う。</p>	<p>・今回の解析結果をどのように解釈できるか検討する。</p>
<p>・より客観的な比較対照群の検討</p>	<p>・より客観的な比較対照群として転入群のデータも活用を検討するため、まずは転入群の背景(原爆の体験等)を集計する。</p>	<p>・今回の転入群に関する集計結果を踏まえ、転入群を比較対象群として活用可能か議論。</p> <p>※アンケート調査のみ。面接調査は転入群には行われていない。</p>
<p>・黒い雨の体験以外にも、原爆体</p>	<p>・黒い雨の体験以外の原爆体験に関する曝露指標に</p>	<p>・黒い雨以外の原爆体験に関する曝露指標の分布</p>

<p>験に関する複数の指標を曝露指標として影響を検証してみてもどうか</p>	<p>についても、活用手法を検討することとするため、まずはこれらの項目の分布等を集計する。特に、黒い雨の体験と健康指標との関連性をこれらの他の体験が媒介（説明）する可能性を検討する。</p>	<p>を踏まえ、これらのデータをどのように用いるか検討する。</p>
<p><u>2 黒い雨の降雨時間の地理分布について</u> ・データの内容、確からしさの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、データ全体の単純なプロットを作成。 ・雨の降り始め時刻ごと、降り終わり時刻ごとのデータの分布を丁寧に見ていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の結果を踏まえ、データの確からしさはどう評価できるか。 ・さらに分析すべき項目があるか。
<p>・降っていないと回答したものに対する検討</p>	<p>・まずは、原爆投下時の位置情報と黒い雨体験位置情報の一致性を検討することとする。</p>	<p>・一致性の分析を踏まえ、原爆投下時の位置情報、黒い雨の非体験者の情報の活用についてどう考えるか。</p>